



北条の将来像を求めて「地域総合計画」を

コミュニティ会長 江尻東磨

コミュニティと公民館の組織と機能が一本化され、名称が「コミュニティセンター」となって一年が経過いたしました。

これまでと何が違うのかと申しますと、コミュニティ活動一層の充実のために、事務職員を一名から三名に増員（センター長と主事二名）し、その人件費を市が助成するものであります。

今、全市のコミュニティで「地区総合計画づくり」の取り組みがなされており、当地区も検討委員会を設置後、十二月に策定委員会を立ち上げて五回の会議と先進地の視察を三月にさせていただきました。策定委員会では、組織の

見直しとビジョン策定を並行して検討し、このたび中間まとめをいたしました。

北条のまちづくりは、「地区民総参加のまちづくり」、「生涯学習のまちづくり」を基本的スタンスに据えて活動してまいりましたが、今後変わることはありません。

「店がない」、「小学校の統合問題」、「農業の担い手不足」、「子どもの遊び場環境」、「センターの移築」等々、課題は山積しておりますが、地域の皆さまの力をいただきながら、ともに住みよいまちづくりを目指したいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

北条地区
コミュニティ協議会
振興 TEL25-3355

さとう じゅんや

子どもの育成と
コミュニティ活動

センター長 庭山清一

北条総合計画策定委員の視察研修が三月三日・四日に実施されました。

視察先は世田谷のプレパークと三鷹市の大沢住民協議会の二カ所です。

視察理由と感想
世田谷プレパーク

当地区でも遊ばなくなつた子どもたち、放課後の子どもの遊び場や公園がないなど、子どもの遊び場環境が課題の一つに上げられておりました。

近年、禁止事項一切なしのプレパーク（冒険の遊び場）が全国的に増えていることから、日本で初めて導入した世田谷のプレパークで学習させていただきました。雪の土産に喜び、真っ黒

な手で口にほおばる子供たち。自由に焚き火をしたり、斧で上手に薪を割る子どもたちの姿に私たちは懐かしさを感じました。その光景はまさに、自分たちの昔の遊びそのものだったからです。

北条には自然も空き地もたくさんありますが、いざ北条に導入となると、本当に親や住民が自ら積極的にいかかわって地域の子どもの遊びを見守っていくことができるかなど、いろいろ課題も見えてきます。いずれにしても、遊びを通して子どもを育てることの大切さを痛感いたしました。

大沢住民協議会

大沢住民協議会には町内会との連携やコミュニティプランづくりの手法等のご指導をいただきました。恵まれた財源や充実した施設だけみても当地区との比較は難しいものがありました。が、コミュニティ委員は全てボランティアで活動していることには驚かされました。

二カ所の学びを今後のまちづくり計画に活かしてまいります。

交通安全は地域ぐるみで

交通安全協会

会長 佐藤 勝

本年に入り、五人の方が交通事故で死亡。また、事故件数も増加し、事故防止対策が急務となりました。

新年度に入り、ピカピカの新生と新園児が通学、通園いたします。車の方は、子どもを見たら赤信号と思い、徐行または一旦停車して、安全を図ってください。また、歩行者からは車のライトは見えませんが、車からは歩行者は見えにくいため、歩行者の方は、夕暮れには懐中電灯や反射板を身に付けるなどして、自分の身を守ってください。

今年も春の全国交通安全運動が四月六日から十五日まで実施されます。当協会では「交通安全母の会」と共催して、登校時の立哨指導を行います。また、この期間中、道路停止線のペイント塗装、カーブミラーや道路標識の点検補修、広報車による事故防止呼びかけ等を行いますのでご協力をお願いいたします。